

平成 27 年 11 月 3 日

かながわ環境カウンセラー協議会
環境教育委員 齊藤 明朗

平成 27 年度環境教育インストラクター フォローアップ研修会 報告書

標題の件につき、下記の通りご報告いたします。

記

1. 開催日 平成 27 年 10 月 3 日（土） 13:00～16:30
2. 開催会場 横浜市西区社会福祉協議会（フクシア） 多目的研修室
3. 参加者 受講者 5 名 : 里見豊、三條雅世、浦野逸子、立石陽子、水野恵美子
講師（環境教育委員）：三島通世、大野昌美、嶋田和夫
スタッフ（環境教育委員）：岡本正義、大竹順之、日吉栄一、齊藤明朗
4. 開催目的 環境教育インストラクター養成セミナー受講者へのアフターフォローとして、受講者が抱えている課題に対してのアドバイス、あるいは新たなセミナーのヒントを提供すること。
5. 内容要旨
 - (1) 自己紹介
参加者、環境教育委員、講師の順で自己紹介を行った。氏名と言と一人 1～2 分程度で話した。
 - (2) 子供が楽しむ工作教室体験
今回は、子供たちに楽しみながら環境に対する理解を深めてもらうため、使用済み、廃棄されたごみ等を利用した工作教室の体験を行った。3 つの講座をそれぞれ 30 分間行った。講師はそれぞれ実際に工作教室を行っている環境教育委員が講座を行った。
 - (3) 交流会
飲み物やお茶菓子を囲み、一人一人の相談や経験談を伺った。それぞれの項目について、参加者同士での意見交換や、環境教育委員よりアドバイスなどを行った。
6. 講座詳細
 - ① ベンハムこま、六角返し、ストロー笛
白・黒という彩度ゼロの紙を張ったコマを作り、回転させると、色づいて見えることに目を見張った。長方形の紙を正三角形のジャバラ折にして作った六角形を回転させて 3 つの面を作る六角返しを悪戦苦闘しながら作った。使用済みストローの一部を押しつぶしてつくるストロー笛を鳴らして楽しんだ。これらは身近で手に入る材料と道具で子供が面白がって作ることができるものと思われた。
 - ② 渚のアート
海岸に多くのごみが漂着している現状とそれらを拾ってアート作品を作ることにより海をきれいにする活動について説明があった。実際に海岸に漂着したゴミ等を材料にして製作した作品をサンプルにして、実際に漂着ゴミを材料にしたアート作品を作った。工作を通してごみポイ捨ての影響について学んだ。
 - ③ 浮沈子、空気砲
浮沈子は、水をいっぱい入れたペットボトルの中に魚型醤油浮きを入れ、圧力の変化により浮きの空気量を変えて浮き沈みさせる。ペットボトルの下半分にゴム風船を固定して作った空

気砲は押し出す空気を集中させて密度を上げて的を倒すという科学的な工作を行った。浮沈子工作を初める前に、花果山の霊験あらたかな石の霊力により・・・と不思議な力が働いていると思わせる口上で浮沈子を動かすデモで子供たちの興味を引きつけるテクニックも学んだ。

使用済みのペットボトルを主な材料とする工作で、道具も必要としないことから広く楽しむことができると思われた。

7. アンケート結果

今回の講座についてすべての受講者が満足、交流会については1人を除き満足と回答しており、参加者にも有意義な時間になったことが伺えた。また、受講者のニーズとしては、自然環境系の講座に多くのニーズがあり、そのほか、地球環境、子供向け、大人向けのニーズもあるという結果となった。(詳細は別紙)

8. 所感

今回は、子供を対象にした工作教室を参加者が体験するため、参加者の人数分の材料とその人数で共用できるだけの道具を用意しなければならないものであったが、講師の工夫した題材によりその条件は満たすことができた。材料の調達、道具の手配・持ち込みなど、講師にご苦労かけた。

工作教室は、単に作り方を教えるだけでなく、作るものにより興味を持ってもらうための工夫(口上、工作を行う意義)が大切と感じました。今回は参加者が少なかったが、その分一人ひとりの話をじっくり聞き、参加者全員で話し合うことができた。

今後、より多くの方が参加したくなるような題材や案内の方法が課題と考えている。

研修スナップ写真



研修開始。参加者5名、少しさびしかったが 参加者の自己紹介。遠く水戸からも参加して頂いた



講師の自己紹介。どんな活動をしているかも紹介 工作の前にこども達を引き付ける口上も披露



いよいよ工作開始。浮きに絵付けをしている



海岸に打ち上げられたごみや貝を使ってアートを工作
短時間であったが、なかなかユニークな作品が出来た



交流会では参加者が全員、発言して、盛り上がった

以上

研修会のプログラム

| | | | |
|-------------|---------|--------------------|-------|
| 13:30 | はじめの言葉 | | 岡本委員長 |
| 13:35~14:00 | 自己紹介 | 1人1~2分で自己紹介をしてもらい、 | 進行:齊藤 |
| 14:00~14:30 | 子どもが楽しむ | ベンハムこま、六角返し、ストロー笛 | 大野 |
| 14:30~15:00 | 工作教室体験 | 渚のアート | 三島 |
| 15:00~15:30 | | 浮沈子、空気砲 | 嶋田 |
| 15:30~15:40 | 休憩 | | |
| 15:40~16:20 | 交流会 | 参加者の話を聞いたり、相談に乗ったり | 全員 |
| 16:20 | アンケート記入 | | |
| 16:25 | 終わりの言葉 | | 大竹 |
| 16:30 | 解散 | | |

フォローアップ研修会アンケート集計

1. 本研修は満足でしたか

| | 満足 | 普通 | 不満 |
|--------|----|----|----|
| 工作教室体験 | 5 | 0 | 0 |
| 交流会 | 4 | 1 | 0 |

2. 工作教室で役に立ったものはどれですか(複数回答可)

| | |
|--------|---|
| ベンハムこま | 4 |
| 六角返し | 3 |
| ストロー笛 | 2 |
| 渚のアート | 4 |
| 浮沈子 | 4 |
| 空気砲 | 3 |

3. 今後どのようなフォローアップ研修会があったら参加したいと思いますか(複数回答可)

| | |
|-------------------|---|
| 自然環境系の活動に生かせる研修会 | 5 |
| 地球環境や生活環境についての研修会 | 3 |
| 事業者向けの研修会 | 0 |
| 大人向けの内容の研修会 | 2 |
| 子ども向けの内容の研修会 | 3 |
| その他 | 0 |

4. あなた自身の環境教育活動について教えてください

| | |
|------------------------------|---|
| 観察会などの自然環境系で活躍している | 1 |
| 地域、学校、職場の環境教育で活躍している | 2 |
| 現在は行っていないが、今後、環境教育活動を行っていきたい | 1 |
| その他(環境の勉強会に定期的に参加している) | 1 |

5. 本研修についての要望や感想等

自然観察＝アウトドアを体験したい(研修として)

また是非開催してください

地域の違う方、多方面のお話を聞ける機会は大切にしたいと思います

楽しく環境教育をコミュニケーションとして伝えることができよかったです

来てよかったです

会議室も駅から近くてよかったです